

技術士包装物流会 50周年記念特別講演会 講演要旨

| | |
|----|---------------------------------------|
| 日時 | 平成 29 年 5 月 20 日(土) ----- 10:30～11:30 |
| 場所 | 日本教育会館 喜山倶楽部 |
| 演題 | これからの農業・食品産業に求められる包装技術 |
| 講師 | 農林水産省農林水産技術会議事務局研究調整官 |
| | 石川豊氏 (日本包装学会前会長) |

| | |
|----|--|
| 内容 | |
|----|--|

1. 概要

AI・IoT等の技術革新やゲノム解析技術の進歩等により農業が大きく変わろうとしている。国の計画を説明され、その中で求められる包装技術にはどのようなものがあるのかシーズ、ニーズ両面から事例等で紹介された。

2. 第5期科学技術基本計画(平成28～平成32年度)

総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)に改組されて初めて策定される計画があり、4つの目指すべき国の姿

①持続的な成長と地域社会の自律的発展、②国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現、③地球規模課題への対応と世界の発展への貢献、④知の資産の持続的創出があると国の計画を紹介された。

3. 世界に先駆けて超スマート世界の実現:「Society 5.0」の概念

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させ、地域、年齢、性別、言語による格差がなく、ニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供し、経済的発展と社会的課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる人間中心の社会への取り組みについて紹介された。

4. 革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)の概要

実現すれば、産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出を目指し、ハイリスク、ハイインパクトな挑戦的研究開発が推進されていることについて具体的な対象課題をあげて説明された

5. 「科学技術イノベーション総合戦略」の紹介

6. 農産物の物流について:農産品物流対策関係省庁連絡会議

物流効率化等の測定指標及び国内外の農産品物流の現状について、イチゴ、サクランボを事例にとり、包装形態、物流方法の事例を紹介された。

その他、パレットや折り畳みコンテナによる出荷・運搬、ICTを活用した共同配送等、他業種との物流の共同利用、トラック輸送から鉄道・船舶輸送に切り替えるモーダルシフト、多頻度小ロット配送や短いリードタイムでの納品等の商慣行の改善等についても言及された。

国の計画から、最後は、農産物の物流まで幅広くご講演頂き、大いに参考となった。

以上:文責 研究会担当、住本